

令和6年第1回（2月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 医療・介護・福祉提供体制の整備</p> <p>(1) 患者数と医療資源の減少により医療機関は苦しんでいる。従来型の発想から転換し、遠隔医療推進などが必要ではないか</p> <p>(2) 社会福祉協議会も経営難であり、将来に不安を抱えている。地域福祉の中心的存在であり、不採算地区の介護保険事業も担当する重要な団体であるが、市はどのように関与していくのか</p> <p>(3) 医療介護問題の対応にはオール佐渡の認識が必要と考える。佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会において、事業者と行政の間ではどのような議論がなされているのか</p> <p>(4) 医療や福祉施設等が集約される中で、周辺部からの交通確保が不安視される。身体が不自由な方々の移動について地域公共交通活性化協議会での議論は</p> <p>2 防災力の向上による安全安心の地域づくり</p> <p>(1) 災害における個人対応と地域としての役割</p> <p>(2) 行政が果たすべき取組と必要な支援</p> <p>① 避難場所の確保（民間施設を含む）と有事における拠点について</p> <p>② 住宅耐震化への対応</p> <p>③ 救援隊受入れに必要なインフラ整備</p> <p>④ 長期停電と地震を経験して、離島ハンディにどう対応するのか</p> <p>3 教育行政方針について</p> <p>(1) 確かな学力を育成する教育について</p> <p>① A Iドリルなど生徒たちが意欲的に学ぶための環境整備はできているか</p> <p>② A L TやS E Aの活用手法について</p> <p>(2) 一人一人が学び続ける学習環境づくり</p> <p>① 中高年世代の学びや健康づくりへの取組は十分か</p> <p>② スポーツ協会に期待するものは何か</p>	金 田 淳 一
2	<p>1 人工透析治療者など通院困難者の負担軽減について</p> <p>(1) 外出支援サービス利用券の利用状況と限度額引上げについて</p> <p>① 身体障害者手帳1・2級の方など、人工透析治療を受けている方の数や通院回数などの状況について</p> <p>② 人工透析治療を受けている患者で、自力での通院困難者で一番遠い方の距離数や交通費は幾らか</p> <p>③ 民間の福祉有償運送の通院利用状況はどのようになっているか</p> <p>(2) 通院困難者に対応した施設（ケアハウス）等の対応は考えているか</p> <p>(3) ボランティア組織へ福祉車両の貸出しによる通院支援ができないか</p> <p>2 能登半島地震での対応と課題について</p> <p>(1) 課題の洗い出しも重要だが、最優先すべき課題と対応は何か</p> <p>(2) 海岸集落の垂直避難における避難先施設について、空き家等の活用はできないか</p> <p>(3) 佐渡市地域防災マップの見直しについて</p> <p>(4) 能登半島地震発生後の行政対応について、現場への市職員派遣によりノウハウを吸収すべきではないか</p> <p>3 令和6年度予算、交通対策事業「コミュニティバス運行費」と「地域協働型交通確保実証事業」について問う</p> <p>(1) 新潟交通佐渡の公共交通機関としての役割はどのように整理しているか</p> <p>(2) 地域協働型交通確保実証事業について</p> <p>① 担い手の運営組織の育成期間や方法はどのように取り組むか</p> <p>② 物的支援の範囲や支援期間等はどのように考えているか</p> <p>③ 事業実施にあたり懸念される事項としてタクシーとの調整を予想しているが、どのように調整するか</p> <p>(3) 公共交通の減便や廃止による観光客への対応はどのように整理しているか</p>	佐 藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>1 令和4年11月17日総務文教常任委員会記録、令和4年度の定期監査等結果を読み、職員の残業時間、賃金は適切か再度問う</p> <p>(1) 副委員長に担当課、職員の名前を聞いて調べたか</p> <p>(2) 上期、下期で指摘された課が違うからよいのか</p> <p>2 冬季の新潟一両津航路の5時30分両津発こがね丸は運航できるようになるか</p> <p>3 地震時の屋内避難所、避難所内用具、避難道、情報伝達及び津波対策等を問う</p> <p>4 著作物の無断使用による損害賠償2件について問う</p> <p>5 島内美化運動について問う</p>	山本健二
4	<p>1 持続可能な島 佐渡の実現に向けて</p> <p>(1) 市長は南佐渡中学校ではどのような話をされたのか</p> <p>(2) 循環型社会の実現に向けた地域づくりについて</p> <p>① 食と農と環境の教育を含めた「新生物多様性農業」について</p> <p>② 新しい地域再生農業の構築について</p> <p>③ 佐渡の自然、食の環境ブランドの強化について</p> <p>(3) SDGs 未来都市として循環型社会の実現について</p> <p>① ゴミを資源として活用するライフスタイルへの構築について</p> <p>② 学校給食センターからの給食残渣の堆肥化等の早期事業化に向けた検討内容について</p> <p>2 災害に強い安全安心のまちづくりについて</p> <p>(1) 自主防災組織の活性化についての具体的な取組</p> <p>(2) 避難所運営に対する訓練について</p> <p>(3) 女性の防災リーダー育成に向けた取組について</p> <p>(4) 地震発生前に可能な備えを促すための取組について</p> <p>(5) 非常食の備蓄と防災食体験について</p>	上杉育子
5	<p>1 災害対応について</p> <p>(1) 緊急輸送時の臨時ヘリポートについて</p> <p>(2) 孤立集落への対応策は</p> <p>(3) 災害協定先への依頼基準は</p> <p>(4) 外国人を含む観光客への対応について</p> <p>① 避難情報の提供及び避難誘導は</p> <p>② 滞留旅客の待機施設等の確保は</p> <p>③ 帰宅支援体制は</p> <p>④ 多言語支援窓口の設置及び運営体制は</p> <p>(5) 要配慮者への対応について</p> <p>① 避難行動要支援者の個別避難計画作成の進捗</p> <p>② 要配慮者に対して必要なスペースの確保及び障害者用仮設トイレ設置の検討は</p> <p>③ 要配慮者の特性に応じた生活必需品や食料の確保は</p> <p>④ 福祉避難所におけるケア要員の配置等を事前に定めているか</p> <p>2 待ったなし地域交通問題</p> <p>(1) 市直営コミュニティバスについて</p> <p>① 安全のための運行管理体制は</p> <p>② 運転手の確保及び適正検査の実施は</p> <p>(2) 地域NPOによるコミュニティバス運行の進捗</p> <p>(3) 富山県朝日町及び高岡市「マイカー乗り合いサービス」の先進事例を研究せよ</p> <p>3 いじめ問題と市の対応</p> <p>(1) 令和4年度のいじめ解消率は前年度より14%マイナスの「C」評価であったが、その原因は何か</p> <p>(2) いじめに対し、市は適切に対応していると言えるか</p> <p>(3) 重大事態調査について</p> <p>① 重大事態はこれまで何件発生し、どのような調査報告がなされたか</p> <p>② 重大事態調査を立ち上げる際は、国の「いじめ調査アドバイザー」制度の活用を</p>	後藤勇典

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>検討せよ</p> <p>4 市民が活躍する協同労働について</p> <p>(1) 広島市「協同労働」促進事業を検討せよ</p> <p>(2) 新たな起業や副業、兼業の形として勉強会を開催すべきではないか</p>	後藤 勇典
6	<p>1 能登半島地震について</p> <p>能登半島地震の被害状況、避難所の対応や今後の避難計画について</p> <p>(1) 各避難所においてペットと一緒に避難できる体制づくりをどのように検討するか</p> <p>(2) 保育園、小・中学校や学童保育において、災害発生時の保護者への避難先の周知の方法は確実にできているか</p> <p>(3) 海の近くにある平屋の保育園等における津波が来た際の避難計画はどうなっているか。垂直避難が難しい場合は対応をどうするか</p> <p>(4) 両津総合体育館、佐渡スポーツハウス温水プールが地震被害のため利用できないが、被害状況と今後の改修計画はどうなっているか</p> <p>2 インターネット環境の向上について</p> <p>庁舎内、各消防署内の職員が利用できるインターネット環境の向上について令和5年2月定例会で質問し、インターネット環境を刷新できるような予算を計上しているとの答弁があったが、どこまで環境整備されたか</p> <p>3 新年度予算について</p> <p>(1) 公共施設のWi-Fi整備環境について、どのような計画か</p> <p>(2) スポーツ国際交流員を3名予定しているが、具体的な内容について</p> <p>(3) 部活動の地域移行の現状と新年度の計画について</p> <p>(4) さわた図書館の今後の計画について</p>	平田和太龍
7	<p>1 南佐渡地区の医療体制の確保</p> <p>(1) 南佐渡地域医療センターの医師の不在は本当か</p> <p>① 南佐渡地域医療センターの医師が3月いっぱい不在となることを佐渡市は知っているか</p> <p>② 後任の医師が確保できていないことを知っているか</p> <p>③ 医師不在となる南佐渡地域医療センターを抱えて、南佐渡の医療体制をどのように確保していく計画か</p> <p>(2) 南佐渡地域医療センターは、南佐渡で入院ができる医療の拠点施設で間違いないか</p> <p>① 常勤医師不在で入院ができない医療センターを抱えて、南佐渡の医療はどうなっていくのか</p> <p>② 入院施設や検査施設のある拠点施設で医師不在が続いた場合、施設の存続はどうなっていくと思うか</p> <p>2 災害時の防災の在り方を佐渡市はどのように考えているか</p> <p>(1) 防災マップは浸透していないのではないか</p> <p>① 1月1日の地震の佐渡市内の被害は把握できているか</p> <p>② 被害に対しての救済はどのように進んでいるか</p> <p>③ 避難所対応がまちまちで避難場所にも行けない人もいたようだが、防災マップの周知はどのように行われているか</p> <p>(2) 1月1日の地震では、自主防災組織がどの程度機能したと考えるか</p> <p>① 自主防災組織は初期対応には非常に有効と考えるが、現実には対応できていないところが多かったのではないか</p> <p>② 自主防災組織であっても合同訓練やマニュアルづくり等は佐渡市がリードすべきと考えるが、いかがか</p> <p>(3) 交通網が寸断されるような大災害の対応はどうなるか</p> <p>① 陸路が寸断されたり、港が破壊されたような大災害の場合の避難対応は考えているか</p> <p>② 医療施設に被害が出るような災害にはどのように対応するか</p> <p>(4) 柏崎刈羽原発に被害が出た場合はどのように対応するか</p>	中川 健二

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>① 福島原発の爆発事故では被災者に状況が知らされなかったため、風下に逃げる結果となったことや 50 キロメートル離れている飯館村まで放射能は飛んでいた。そのことを考えると柏崎刈羽原発の間に遮蔽物のない佐渡の場合は、風向きによれば飯館村より被害が大きくなる可能性があるが、そのことをどのように考えているか</p> <p>② 柏崎刈羽原発から5キロメートル圏内でも 30 キロメートル圏内でもない佐渡市は、柏崎刈羽原発の再稼働論議はされていないようだが、もしも柏崎刈羽原発に事故が起きた場合の避難対応の想定はしているのか</p> <p>3 民間企業の撤退</p> <p>(1) 羽茂にある民間企業が今年いっぱい撤退するのはなぜか</p> <p>① この企業は50年余りこの地で操業して地域に大きな貢献をしてくれたと思うが、なぜ撤退の判断に至ったのか理解しているか</p> <p>② 島外に若者が出てしまう理由は「佐渡には仕事がないから」と言われるが、島内企業が人材不足で撤退するのはお互いのミスマッチがあるのではないかと思われるが、何が若者に受け入れられなかったと理解しているか</p> <p>(2) 今後も島内企業への新採用は難しいと思うか</p> <p>① 佐渡には他にも製造業があるが、新卒の採用がないことは同じと聞く。企業撤退の連鎖が続くと思うか</p> <p>② 佐渡市としてこの企業とのミスマッチにどのような対応をしていくつもりか</p> <p>4 公共施設の在り方</p> <p>(1) 公民館を今後どのように整理していくか</p> <p>① 合併のメリットを考えるのであれば集約を考えるべきだが、公民館は地域にとってコミュニティーを支えるうえで必要な施設で、旧 10 市町村に1か所は必要と考えるが、いかがか</p> <p>② 公共施設の長寿命化などのリニューアル等は中央から始めるのではなく、末端から進めて中央で完成することで地域も元気になれると思うが、そのようなことは考えていないか</p> <p>(2) 公民館を残すためにはどのような方策が考えられるか</p> <p>① 支所機能と一体化する方法は良いアイデアだと思うし、新設されているところはそうなっているようだが、支所機能と分離している公民館は今後どのようにしていくか</p> <p>② 公民館である以上、人が集うに適した施設とするためのアイデアを盛り込んで、注目を集める木造の温かみのある空間として、地域の人々の利用頻度を上げ、費用対効果が上がるような施設を造る意欲はないか</p>	中川 健二
8	<p>1 「住宅リフォーム支援事業補助金」・「省エネ家電製品等購入促進事業補助金」・「補聴器購入費助成事業」を継続事業として、当初予算での「学校給食費無償化」・「就学援助制度の充実」の実施について</p> <p>2 災害対応、耐震診断・耐震改修事業の充実、防災士の資格奨励についてと避難時の個人財産対応について</p> <p>3 通院（両津病院など）、買い物に便利な地域循環 100 円バスの創設、実施について</p>	中村 良夫
9	<p>1 地震津波等の災害への対応について</p> <p>(1) 1月1日の能登半島地震の教訓は何か。総括してどう生かしていくのか</p> <p>(2) 今回の能登半島地震は、原発事故の避難は困難であることが明白になったが、現時点で避難方法もいまだ曖昧である以上、離島佐渡として原発再稼働に賛成できない意思表示をすべきではないか。市長見解を求める</p> <p>2 市民に信頼される行政運営に</p> <p>(1) 臨時職員である会計年度任用職員も多くを占め、また、民間登用の幹部クラス職員も増えている中で、市民の信頼を得る行政となるためには行政コンプライアンスが一層求められるが、どのようになっているのか</p> <p>(2) 会計年度任用職員の再度の任用について、令和4年12月定例会の答弁では、他市の状況も踏まえ検討するとしているが、具体的にはどうなったか</p> <p>(3) 市職員の副業拡大の基本的視点と具体的にどのようなようになるのか</p>	中川 直美

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>3 佐渡航路の今後について</p> <p>(1) 佐渡航路の冬場2隻体制はどうなるのか。また、おけさ丸、ジェットフォイル更新の課題は民間任せと理解していいのか</p> <p>(2) 佐渡汽船の経営移行に伴う協定(書)について、どのような認識なのか</p> <p>(3) 他県並みに新潟県に小木一直江津航路への支援を明確に要請すべき</p> <p>(4) 佐渡空港のトキエア就航と2,000メートル整備の関係について</p> <p>4 次期「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」について</p> <p>(1) 毎期、地域包括ケアの構築をうたってきているが、達成状況をどう捉えているのか</p> <p>(2) 在宅介護について、在宅介護実態調査も踏まえ「昼夜の排泄」、「認知症対応」に対して「認知症の支援体制」の更なる充実を「本市の課題」としているが、具体策は何か</p> <p>(3) 7割が老々介護状態＝その声に応えた内容となっているか。問題点や課題は何か</p> <p>(4) 訪問介護の報酬引下げで地域包括ケアが維持できるのか</p> <p>(5) 物価高騰も続いている中、介護保険利用料の軽減策の拡充が必要ではないか</p> <p>(6) 特別養護老人ホーム入所待機者への対応策は何か</p> <p>5 両津病院建設への県の支援はどうなったのか</p> <p>6 観光交流機構不適正事務について</p> <p>(1) 不適正事務の総括はどうなっているのか(原因、問題点など)</p> <p>(2) 監査指摘された不適正事務を受けての新年度の対応</p> <p>(3) 観光交流機構及び市の役割をどのように整理したのか</p>	中川直美
10	<p>◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする</p> <p>1 能登半島地震と津波災害の避難と今後について</p> <p>能登半島地震を受け、関連する佐渡西方沖活断層F42が今後、海底地震、津波を起こす可能性が高いとする警戒の呼びかけがメディアを通して専門家より出されている。このことを真剣に受け止めている住民の命を守るために、分かりやすい説明を求める</p> <p>(1) 佐渡の住民の避難行動についての調査と評価をどのようにしたか</p> <p>① 島内の地震と津波の状況はどのようなものだったか</p> <p>② 津波避難が必要だった地域の避難行動について</p> <p>③ 避難困難な住民への対応について</p> <p>(2) 避難行動要支援者リストの活用について</p> <p>① 誰が管理し、活用計画を立てているのか</p> <p>② 災害別に避難計画を立てる必要があると考えるが、どうか</p> <p>③ 要支援者に対する避難計画の説明をするのは誰の担当か</p> <p>(3) 各集落の自主防災会の役割について</p> <p>① 自主防災会とは何か</p> <p>② この存在は全ての住民に周知されているのか</p> <p>③ 避難計画策定は誰が担当者か</p> <p>④ 避難訓練実施の担当者は誰なのか</p> <p>(4) 佐渡市地域防災マップについて</p> <p>① 佐渡市地域防災マップとは何か</p> <p>② この存在は全ての住民に周知されているのか</p> <p>③ マップの理解を深めるための説明会を求める</p> <p>④ いつでも住民の目に着くところに掲示することを求める</p> <p>(5) 佐渡島周辺に存在する津波断層について</p> <p>① 太平洋側と日本海側の地震や津波の規模の違いはどのようなものか</p> <p>② 佐渡島近海の津波活断層はどのようなものか</p> <p>③ これらの基礎知識を丁寧に市民に学んでもらう機会を求める</p> <p>(6) 防災士の資格取得者について</p> <p>① 各自主防災会に防災士資格を持つ人がいることが望ましいと考えるが、どうか</p> <p>② 防災士研修講座や資格取得試験の費用補助の拡大を求める</p>	荒井真理

順	質 問 事 項	質 問 者
10	<p>2 予算の使い方について</p> <p>(1) 今年の降雪量は例年に比べてどのようなものか</p> <p>(2) 除雪費が補正予算で増額されるのはなぜか</p> <p>(3) 佐渡市市営住宅等長寿命化計画の中にある解体実施方針はどのようなものか</p> <p>3 相川の博物館事業について</p> <p>(1) 相川郷土博物館のリニューアルオープンをどのように予定しているか。それを地元住民に周知しているか</p> <p>(2) 展示計画に従って着実に進んでいるか</p> <p>(3) 相川の郷土資料を総合的に判断しているのはどこか</p> <p>(4) 相川の博物館事業に正規雇用の学芸員は配置されるのか</p>	荒井真理